コメントテンプレート

日付: 2022/5/30	規格番号: ー（資料 2）	プロジェクト:

委員名※	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条※ (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメントタイプ※	コメント※	修正案	検討結果・対応案
大隅					JIS C60068-2-38 の改正案では、「試験期間中に通電する供試品の場合、温度分布、凝縮効果 などに影響がある場合がわかってきた」という理由から、試験における上限相対湿度範囲を「93+3%」から「93+5%」へと改正され、上限相対湿度が高くなるという改正内容となっている。 しかしながら、上限相対湿度が高くなることは、供試体の性能・品質等の評価において厳しい条件となる場合があり、評価結果が悪化する等、上限相対湿度が高くなることが評価結果に及ぼす影響がありうることから、JIS 改正作業ではこの観点についても考慮して進めて頂きたい。		素案作成委員会には、製品の団体（JEMA 殿など）からもご参加いただきますので、ご意見を伺いながら審議を進めます。 （素案作成委員会）

コメントタイプ:　ge = 一般的　te = 技術的　ed = 編集上

※欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。